

ゆきちゃん通信

2000年9月3日

No.9

発行人 tomi

夏の思い出

今年もキャンプ！楽しかった！！



今年も由紀子の夏休みは自閉症協会の療育キャンプで始まりました。

2度目の参加とあって由紀子はとても落ち着いてすべてのプログラムに参加して、大満足で帰ってきました。

去年は雨の為、ゴール間近であきらめた登山も今年は最後まで弱音を吐かずに歩き通すことができました。みんなに誉めてもらった由紀子は得意満面。「エライ？」と言！

そして夜に屋外で催されたキャンプの集いに暗い所が苦手な由紀子が、落ち着いて参加して、みんなと一緒にダンスを踊る事ができたのには私もびっくりしました。

今年の担当のボランティアさんは「あやの先生」。のんびり屋の由紀子をよくリードして、よい思い出をたくさん作ってくださいました。ありがとうございました。最後の日にリーダーの先生から「由紀子ちゃんはがんばりましたね！去年とはぜんぜん違ってましたよ。やはり経験が大事という事ですね。」と、言って頂いた時に来年も、再来年もきっとまた参加しようと強く心に決めて帰ってきました

その1、ねーねーが帰ってきたよ！

大学にいていた長女が夏休みになって帰って来ました。

5ヶ月ぶりに「ねーねー」の顔を見た由紀子。最初はやはり緊張した様子でしたが、布団の中に無理やり入ってきた「ねーねー」に抱きつかれた時、全身で跳ねて喜びを表していました。その後、歌をいっしょに歌って、いっぱい甘えて幸福そうに眠った由紀子です。



再会が苦手な由紀子ですが、さすが肉親の絆は強かったということなのでしょうが？

1週間ほどで熊本に戻っていった長女に「行ってらっしゃい！」と元気に言えた由紀子

にまた一つ成長を感じました。

その2 1000ピースのパズルに挑戦！

今年の夏休みの宿題は1000ピースのジグソーパズルに挑戦しました。

まずは、1作目を家族みんなで手伝って作ることにしたのですが、今まで由紀子にとってパズルは短時間に一気に仕上げってしまうものでしたから何日もかかって仕上げることを理解させるのが大変でした。

初日の夜などその日一日かかって作ったものを「おかたづけ」といって壊してしまいそうになりました。

それでも、慣れてくると家族の誰よりも早くピースをつなげる事ができるようになり、1作目は10日で出来上がりました。

そして、2作目は由紀子一人の力でがんばって1週間で仕上げました。

私達は、作る途中ほとんど完成図を見ないでピースをつなげてゆく由紀子の手元を感心して見るばかりでした。

その3 歯医者さんに行きました。

あまり、自慢にはなりません学校で歯科検診で虫歯が見つかって初めて医者さんに行きました。

病院のご配慮で由紀子のペースに合わせてゆっくりと治療していただき、進行をとめる薬を塗って無事終わりました。

6月には耳鼻科にも通院できたし、一つずつ苦手な場所がクリアできて、よかった！よかった！

「でも、虫歯ができないのが1番」これはお父さんの言葉……。はい！よくわかっております。



「うん！」という言葉……。

最近「ゆきちゃん、ご飯食べた？」と聞く由紀子は「うん！」と答えます。

普通の子どもにとってはなんでもない会話ですが、由紀子がこの言葉を身につけるには本当に長い時間がかかりました。

上の娘たちは言葉を話し出す前にうなずくという方法でこの「うん！」を身に付けていました。でも、由紀子は三歳になってもその兆しは見えませんでした。それが自閉症を疑いだしたきっかけでもありました。

由紀子はこの言葉をビデオの「トトロ」の中に出てくるメイちゃんという女の子のセリフから覚えました。いえ、学習したといういいかもしれません。

今まで質問には「ご飯食べた！」と言うようなオウム返しに似た返事をしていたのですが、ビデオの中でメイちゃんが「うん！」と答えている場面を見ている内に由紀子の中で何か感情が芽生えたのかもしれない。最初のうちはメイちゃんの言い方そっくりに真似をして意味もなく「うん！」「うん！」をうれしそうに連発していましたが、時間が経つにつれて、その言葉は由紀子のものになりました。いろいろな場面でも自然にそして的確に使えるようになっていったのです。

今までも、由紀子はこのような形でいろいろな言葉や動作を身につけてきました。全てが学習なのです。

それにしても、由紀子が「うん！」と答えるたびに私は笑顔にならずにはいられません。ずっと、ずっと待っていた言葉だった。そんな気がします。

